

2023
9
16 (土) — 11
26 (日)

企画展

休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般 1,200(1,000)円、
高大生 700(500)円、小中生 400(200)円
※()内は前売り(一般のみ)・20名以上の団体料金

主催 公益財團法人香雪美術館、朝日新聞社

茶碗の湯の 茶碗

—その歴史と魅力—



中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

夜間特別
開館
時間
開催日: 2023年9月21日(木)、
10月19日(木)、11月16日(木)
時間: 10時～19時30分(入館は19時まで)

建築 油瀬天田 南宋時代(12—13世紀)

The Tea Bowls of Chanooyu



野々村仁清 色絵忍草文茶碗 江戸時代前期(17世紀)

The History and Allure of Tea Practice

茶碗は、茶席において客が茶を直接的に飲む道具であることから、特に重要な茶道具として貴ばれてきました。またそれゆえに、時代ごとの茶の湯における美意識を如実に反映しています。



朝鮮 井戸茶碗 燕庵井戸
朝鮮時代（16世紀）



長次郎 黒楽茶碗 銘 古狐
桃山時代（16世紀）
【重要美術品】

記念講演会

名碗が語り掛けてくるもの —天目から“茶碗”へ—

講 師：竹内順一 氏（東京藝術大学名誉教授）

日 時：10月7日（土）14:00～15:30

会 場：中之島会館（当館隣）

参加料：500円（展覧会観覧には別途入館料が必要）

定 員：280名（予定・先着順）

応募方法（いずれかの方法でご応募ください）

◎ウェブサイト

当館HP上の専用フォームをご確認ください。

◎往復ハガキ

1通で2名様まで応募可能。参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所・氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。

【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階

中之島香雪美術館

「茶の湯の茶碗」展 講演会係

受付開始 2023年7月8日（土）

ギャラリートーク

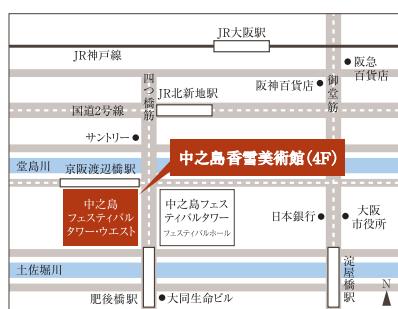
学芸員による展示解説

9月16日（土）、10月21日（土）、11月18日（土）

いずれも15:30～（1時間程度）

次回展

刀と拵の美 —館蔵刀剣コレクション—



中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4

中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階

Tel. 06-6210-3766

<https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/>
Twitter@kosetsu_museum

⑤Osaka Metro四つ橋線「肥後橋」駅4号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅12号出口直結 ⑥JR「大阪」駅桜橋口より徒歩約15分 ⑦Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅7号出口より徒歩約8分
⑧JR東西線「北新地」駅11-5出口より徒歩約8分

粉末状にした茶葉に湯を注いで飲む抹茶（点茶法）は、北宋時代（960～1127）に中國で始まった喫茶法です。鎌倉時代初期（12世紀末）に、中国へ留学した僧侶や日本へ渡來した中国人商人などによつて、抹茶が日本に入るとともに、天目や青磁など中国製の唐物茶碗がもたらされました。室町時代後期（16世紀）になると、大坂・堺の富裕な町衆たちを中心に、質素な茶器を用いる「侘び茶」が流行し、朝鮮半島製の高麗茶碗も用いられるようになりました。桃山時代（16世紀後半）には、千利休（1522～1591）の好みを反映した樂茶碗が作られ、以降江戸時代にかけて日本各地の窯で和物茶碗が作られるようになりました。

本展では、当館所蔵の茶碗約70点により、日本における茶の湯の展開をたどります。

茶の湯の茶碗

—その歴史と魅力—



朝鮮 割高台茶碗 長束割高台
朝鮮時代（16世紀）



美濃 濑戸黒茶碗 銘 宗潮黒
桃山時代（16-17世紀）



重要文化財
特別出品
美濃 志野茶碗 銘 広沢
湯木美術館
桃山時代（16-17世紀）



美濃 志野茶碗 銘 朝日影
桃山時代（16-17世紀）



景德鎮窯 祥瑞山水花鳥文洲浜形茶碗
明時代（17世紀）



重要文化財
特別出品
野々村仁清 色絵鱗波文茶碗
北村美術館
江戸時代前期（17世紀）

展示期間：9/16（土）～10/22（日）

茶道具を所蔵する関西の美術館・博物館9館が緩やかに連携します。入館料の相互割引を検討中です。

京都 北村美術館 京都国立博物館 泉屋博古館
野村美術館 楽美術館

大阪 逸翁美術館 中之島香雪美術館 湯木美術館

兵庫 滴翠美術館

詳細については、各館ホームページなどをご確認、または各館にお問い合わせください。